

## デザイナーに相談してみよう

委託販売  
tsumiki  
セレクトショップ  
2つの例

**CASE 1:**

**デザイナー** kagaya design 加賀谷明寛さん

**相談者** CHOOSE FOODS 穴戸由佳さん

デザイナーと打ち合わせ



**CASE 2:**

**相談者** ハーブ工房まーじょらむ 阿部薫さん

**デザイナー** kicodesign 田内亜紀子さん



tsumikiでは、利府町の地域資源を生かしたソーシャルビジネス、コミュニティビジネス、小商いの起業・創業促進のため委託販売を行っています。委託販売は「tsumiki セレクトショップ」と称し、年3回出店者を募集。期間中はtsumikiスタッフが相談に応じ、出店者のステップアップ支援を行っています。そのなかで出店者の悩みの一つとして、雑貨・食品などの商品を作ることはできるが、展示の仕方、販路の拡大、広報の仕方などに手が回らないという課題がみえてきました。今回はデザイナーとのマッチングを行い、デザイン力で商品の良さを引き出し、事業を拡大した2つの事例を紹介します。

**CASE 1:**

**何のため、誰のため？**

**考えを明確にするデザインの力**

**CHOOSE FOODS**  
(チュースフーズ)  
http://choose-foods.strikingly.com/  
choosefoods.sendai@gmail.com

米粉、大豆粉、ココナッツオイル、豆乳、きび砂糖など、すべて植物性食材のみを使用し、一つひとつ手作りした焼き菓子や委託・受注販売、東北初の米粉マスター認定講座も開催している。(委託期間/2018年8月～11月:第2期、12月～3月:第3期)

**課題:**

米粉などを使った菓子の良さや作者のメッセージを、消費者に伝えたい。伝えるべき情報を見やすく整え、デザインをしっかりと作り込むことで商品の魅力を高める。

今までのデザイン



**取り組み:**

従来の販促物のデザインをブラッシュアップし、商品PRの方法を探る。作成した販促物:ロゴ、パッケージ(ラベル、タグ)、プライスカード、POP用ボード、ショップカード。

**スケジュール (2018年)**

- 6月 委託販売決定
- 7月 準備期間。問題点を整理し、デザイナーとロゴやパッケージをブラッシュアップ。
- 8月 委託販売スタート! 新しいロゴとパッケージで販売開始。POPボード、ショップカードも用意してお客様の反応を見る。tsumikiスタッフと相談しながら商品のラインナップ、見せ方を考える。
- 10月 販売実績を受けて、パッケージのラベルを修正し、タグを付けるなど改善する。
- 11月 こ・あきない市vol.6に出店。お客様の生の声を聞きながら、マーケティングを行う。
- 12月 パッケージデザイン完成
- ～3月 委託販売の継続、2期にわたり出店。新商品も試しながら、販路を広げる。

**費用 (参考価格)**

パッケージ・POP用ボードデザイン 70,000円～  
※参考価格ですので、詳しくはお問合せください

**成果:**

委託販売に加え、こ・あきない市にも出店したことで、町内での認知度が上がりました。期間中、米粉菓子に興味のある方、アレルギーのある方、子育て世代の方々の声を聞くことができ、何が求められているかが明確に。販促物のデザインが統一されたことで商品のイメージを伝えやすくなり、カフェなど委託先が2店舗増え販路が広がりました。コラボ商品を作りたいなど、新たな商品開発の相談も寄せられています。

新しいパッケージやPOP



**相談者 から**

デザイナーと一緒にロゴをデザインすることは、自分のやりたいことを深く掘り下げて考え、再構築していく作業でした。加賀谷さんはロゴをデザインする前に、「何がしたいのか?将来はどうしたい?」と、私の考えを根拠強く引き出してくださいました。それで私自身が気持ちを整理できましたし、一緒に頑張ってくれる仲間ができたような心強さを感じました。私好みのステキなロゴやパッケージが出来上がり、感謝しています。(穴戸由佳さん)

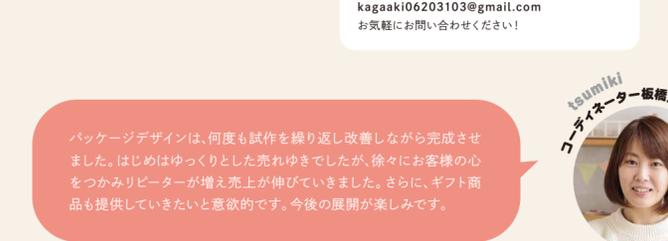
**デザイナー から**

情報を整理しブランディングをしていく中で、ロゴマークやパッケージは「何のために、誰のために必要なか」を穴戸さんとともに考え、制作を進めていきました。同時に将来のことも見据え、今後想定される新商品や販売方法、販売場所を確認していきました。穴戸さんは明確なコンセプト持っていたので、お互いの意見を交換しながら進めることができました。(加賀谷明寛さん)

**kagaya design**  
kagaaki06203103@gmail.com  
お気軽にお問い合わせください!

**デザイナー** tsumiki コーディネーター 板橋芳理

パッケージデザインは、何度も試作を繰り返し改善しながら完成させました。はじめはゆっくりとした売れゆきでしたが、徐々にお客様の心をつかみピーターが増え売上が伸びてきました。さらに、ギフト商品も提供していきたいと意欲的です。今後の展開が楽しみです。



**CASE 2:**

**特徴をわかりやすく!**

**デザイナーと見つける商品の良さ**

**ハーブ工房まーじょらむ**  
090-6448-8217  
herb.school.marjoram@gmail.com

自然のエネルギーがたっぷり詰まった国内外の天然(自生)ハーブを使って、オリジナルブレンドハーブティを手作り販売している。カフェやサロンなどでのハーブ講座やワークショップを開催、オリジナルブレンドティーのプロデュースも行う。(委託期間/2018年8月～11月:第2期)

**課題:**

パンフレットなどを利用して、商品の良さを分かりやすくお客様に伝えるため、従来のロゴを商品イメージにあったデザインに変更したい。

今までのパンフレット



**取り組み:**

ロゴを新しく作成。これまでのブランドイメージを保ちつつ、手に取りやすいパンフレットを作ることを目指す。

**費用 (参考価格)**

ロゴデザイン・パンフレット制作 140,000円～  
※参考価格ですので、詳しくはお問合せください

**スケジュール (2018年)**

- 6月 委託販売決定
- 7月 準備期間。京都在住のデザイナー田内さんとインターネットを利用して打ち合わせ、制作開始。こ・あきない市vol.5に出店。
- 8月 委託販売スタート! ロゴのイメージ、パンフレットの内容を検討。
- 9月 tsumikiを会場に毎月1回「りふマルシェ」を主宰し直接販売の機会をつくる。仙台で開催された「ひきだしマルシェ」などに出店し販路を広げる。
- 10月 ロゴ・パンフレットの校正作業終了。tsumikiブレンドの商品開発に着手。
- 11月 新パンフレット完成

ハーブティーをtsumikiのカフェメニューとして提供。ハーブに関する講座やハーブティーの淹れ方ワークショップを積極的に開催。こ・あきない市vol.6に出店。

遠距離の打ち合わせにはインターネット電話サービスも活用



**成果:**

新しいパンフレットは、ハーブの効能や特徴が分かりやすいとお客様から好評。連絡先、商品注文の流れを明記したことで購入方法が分かりやすくなり、県外からの問い合わせや販売数も増えました。「こ・あきない市」への出店、定期的「りふマルシェ」を主催するなど、直接お客様に合った商品を提案することで新規顧客の獲得、町内の認知度UPにつながりました。

新しいパンフレット

新しいロゴ



**相談者 から**

やさしい色使いや可愛らしいイラストが気に入って、今回のパンフレットのデザインをお願いしました。ほんやりしていたパンフレットのイメージが、デザイナーの田内さんやサポートしていただいたtsumikiスタッフとのやり取りの中でだんだんと形になっていきました。外部の方々に関わっていただいたおかげで、自分一人では気付かなかったことに気付き、新しいアイデアが生まれ、素敵なパンフレットが出来上がりました。(阿部薫さん)

**デザイナー から**

ロゴデザイン、パンフレットともに、一目見てすぐにハーブ関連のものだと感じさせるデザインを心がけました。表紙は「天然ハーブ」を使っていることが分かるコピーを提案し、他と差別化。ハーブティーのイラストでシンプルに表現しました。手描きのイラストを入れることでハーブティーを飲んだ時のほっとするリラックス感、あたたかみのある印象に仕上げました。(田内亜紀子さん)

**kicodesign**  
akiko@kicodesign.com  
お気軽にお問い合わせください!

新しいロゴは「ハーブ工房まーじょらむ」の商品だとひと目でわかる目印になりました。委託期間中は、実際にハーブティーを味わう機会を提供したり、淹れ方のワークショップを開催したりと、様々なアプローチを試みました。今後、利府をイメージするオリジナルブレンドにも期待しています。



## 利府町のんびりまち歩き 写真道! 加瀬沼公園・県民の森

案内人・撮影 ●ライター・カメラマン加藤貴伸さん tsumikiスタッフ佐藤陽友

**モリリン加瀬沼公園へ**

塩釜市、多賀城市および利府町にまたがる加瀬沼公園は、緑豊かな環境の中で、子どもや家族連れで楽しめる公園として親しまれています。冬の加瀬沼公園は、白鳥や渡り鳥の群れが集まることで有名です。そんな白鳥たちを被写体に撮影!

色彩の薄いだまや水辺に、コートの赤が鮮やか。

白鳥が餌を探しに首を突っ込んでいた様子が印象的で、思わず撮ってしまいました。

白鳥の目はまっすぐで可愛らしく、どこか人間味のある優しい目をしてますね。

春は桜が満開に咲いて華々しい加瀬沼公園ですが、この枯れ木のような冬の佇みも、しみじみと感じる味わい深い景色で「いいな」と思いました。

**杜の都信用金庫 モリリン加瀬沼公園**

【開園時間】  
4～9月 8:00～18:00  
10～3月 8:00～17:00  
【休園日】火曜日、年末年始



**宮城県県民の森・青少年の森へ移動!**

仙台市・富谷市・利府町にまたがる広大な敷地に、中央記念館、広場、野外音楽堂などがあります。今回は利府町側をお散歩。

2号館を見学している天井面のデザインに目が留まりました。幾何学的なデザインが現代的!暖色系の照明がモダンを引き立てていてお洒落でした。

その後は、フィールドアスレチックへと移動。自然の中に囲まれたアスレチックは、スタートからゴールまで2kmほど続いています。

カメラを持つとそれまで意識していなかった部分にも目が留まり、「これいいかも」という新たな利府のいいところが気が付きました。もっと他の場所にも足を運んでみたいです。(佐藤)

**宮城県県民の森 青少年の森**

【利用時間】  
4～10月 9:00～16:30  
11～3月 9:00～16:00  
【休園日】年末年始

もうすぐ春。みなさんもカメラを通して利府の魅力を再発見してみたいか?





9人目

お名前 翼tasku さん (33歳)

利府町から翼を広げ活動する、社会福祉士/介護福祉士・アーティストです



「たくさんの人を幸せにしたい」 ~その想いを音楽とともに。

利府町育ちの翼taskuさんは、社会福祉士/介護福祉士をこなしながら音楽に向き合うアーティスト。休みの日は、各地でのライブ出演、講話、ラジオ出演など幅広く活躍しています。自身の活動でたくさんの人を幸せにしたいという、熱い思いを語っていただきました。

音楽が持つ力に気付く

小学校時代の翼taskuさんは、ピアノを習っていましたが、それよりも陸上競技にのめり込んでいたとい... 音楽の道へ傾倒していきま... 中学2年生のクラス会で弾き語り... 音楽の素晴らしさに気付く作詞作曲を始めた。

二足のわらじで社会へ貢献

祖父母が大好きだった翼taskuさんは、介護・福祉に興味を持ち東北福祉大へ進学。CD制作やライブハウスでの活動を続けながら、社会福祉士/介護福祉士の資格を取得... 自身のアーティストとしての活動も「たくさんの方が笑顔でいられるなら」と、石窯パン工房ばーすでの



広報大使、塩釜地区防犯協会連合会・万引き防止啓発ソング「マンボウ」の提供、利府町内のお祭りイベント、りふレ横丁などでの演奏、ラジオ番組「翼taskuのBIG FISH FACTORY」(コミュニティFM全9局で放送中)出演、講話など、多岐に渡り自らの活動をコーディネートして... アーティストは発信力があることを

2012年には、「十符の空」という楽曲を制作しました。ライブでも定番の曲です。利府町は「ただいま」といえば「おかえり」と言ってくれるとても温かい町。そんな町の良さを伝えていきたいという思いで書いた曲です。現在仕事以外の時間は、ほぼアーティスト活動に費やしています。「正直もっと睡眠時間が欲しいと思うこともあります。でも応援してくれる皆さん、支えてくれる仲間たちに助けられているから頑張れる。2019年は、今までやらせてもらった活動に結果を出し勝負を懸ける年にしたいです。」そして、両親がつけてくれた名前「翼」という字は、鳥が天空を自由自在に飛び回るとい情景を表す以



外にも、人を助けるという意味が込められています。「利府=翼taskuとして利府以外の地域にも、もっともって羽ばたいていきたいですね」と意気込みを語ってくれました。最初から不可能だと決めつけずに、自分が輝けるステージは自ら切り開いていくことを次世代に伝えていきたいと話す翼taskuさん。精力的に活動している今後がとても楽しみです。

取材・文 tsumikiライター 櫻井陽子

利府町で暮らす面白い人を毎号紹介していきます

十符(とふ)とは? ... 昔、利府町の湿地帯には、良質な菅(スグ)草が自生し、「菅藪(スガコモ)」と呼ばれる敷物が作られていました。その菅藪の編み目が10編あることから「十符の菅藪」と呼ばれ、みちのくの「歌枕」としてもうたわれていました。これが、「十符の里」「十符の浦」と呼ばれるようになり、十(と)が利(と)に、符が府に変わったと言われてい



活動の情報 翼tasku http://goodspeed-web.jp/tasku/

LIVE情報 3/23(土) 利府町万引き防止キャンペーン 3/30(土) 石窯パン工房ばーすにて名取本店 誕生祭

from RIFU-CHO CHALLENGER

CHALLENGER

寄せ植え Rötter(ルツテル) 北條恵子さん



心をつかまれた衝撃的な出会い

北條さんはプランツギャザリングという、あまり聞き慣れない寄せ植えの手法を広める仕事をしています。この新しい園芸手法は、2000年頃に愛知県の青木英郎氏の発案で誕生しました。宮城県内の認定取得者は北條さんで3人目です。「もともと花が好きで、生け花やフラワーアレンジメントを習ったり、いつも部屋に花を飾っていたんです」。北條さんがプランツギャザリングに出会ったのは、3年ほど前に訪れた蘭展の会場でした。作品から感じる生き生きとした美しさと手法の素晴らしさに、大きな感銘を受けました。プランツギャザリングの魅力は、切り花のアレンジメントや一般的な寄せ植えと違い、根っこがあるので植物の命が長いこと。そして、ブーケのように組合せながら作るので、出来上がりがすぐに楽しめることです。土に触れる喜びも加わって、今まで以上に花たちから元気ももらっているそうです。

プランツギャザリングに魅せられて

東北ではあまり普及していないプランツギャザリングの魅力をもっと知ってほしいと、栗原市の「花カフェ 花音」に弟子入り勉強を始めました。そんな時、利府町に起業創業を支援する施設ができたことを知りました。何から相談してよいのかもわからないまま、突き動かされるようにtsumikiに飛び込んだのが2017年冬のこと。スタッフのアドバイスを受けながら、こ・あきない市やイオンモール利府での出張もくようマルシェ、利府町外へのマルシェなどに積極的に出店し販売やワークショップを行いました。その中で、お客様や出店者仲間、苗の生産者とのつながりが生まれ、その方々の紹介でさらに仕事の幅が広がっていきました。屋号の「Rötter(ルツテル)」は、「根っこたち」を意味するスウェーデン語から名付けました。根鉢をやさしくほぐしながら束ねて植える北條さんのしぐさが、根っこたちのお母さんのようで言葉のイメージにぴったり重なります。今後の目標を聞いてみると、「自宅を改装して店舗づくりもやりたいと思っているのですが、今は自身の技術をもっと磨いて、プランツギャザリングをたくさんの方に知っていただきたいです」と実直な答えが返ってきました。



取材・文 tsumikiライター 五十嵐千晶

花たちがつなぐ人々の輪



INFORMATION

寄せ植え Rötter(ルツテル) 北條恵子 宮城県宮城郡利府町菅谷台 090-1498-2934

tsumiki INFORMATION

4月のイベント 4/14 Good bye! Vacant house. 空き家活用見本市 11:00-17:00 空き家活用実践者が一同に集まり、取り組みを紹介。新しい空き家活用の形を提案する見本市と関連トークを開催します。

4/27・28 「tsumiki SHOW 店」開店 11:00-15:00 スタッフや tsumiki 利用者のスキルをお見せ (SHOW!) しつつ、よろず相談、展示・販売・ワークショップなどを行います。

tsumiki セレクトショップ 地域資源を生かしたお菓子や雑貨など出品者を募集し、委託販売します。 第1期 4~7月 第2期 8~11月 第3期 12~3月

こ・あきない市 年3回開催予定 7/6(土) 11/16(土) 2020/2/29(土) もくようマルシェ tsumikiにて(年6回程度) 偶数月第3木曜開催 イオンモール利府にて(年4回程度)

こ・あきない塾 第3期 秋頃、連続講座を開催予定 tsumiki 起業創業相談 個別相談を受け付けています。 要予約(随時受付)/1人60分/無料

交流会 tsumiki しゃべり BAR 5/24 7/26 9/27 11/22 2020/1/24 いずれも金曜日 19:00~21:00

※詳しくは、tsumikiのHP、SNS、利府町広報紙などで随時お知らせいたします。

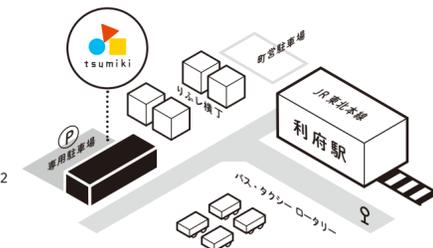
編集部よりお知らせ

tsumikiチーフコーディネーター 葛西淳子

2019年度の『つみきのキモチ』は配布方法が変わります。これまでの町内全戸配布から、館内および町内・近隣施設を中心に配布することになりました(年3回発行予定)。なお、町内外で配置にご協力いただける店舗、施設などを募集していますので、tsumikiまでご連絡ください。



利用時間 9:30-17:30 (水・金曜日は21:00まで開館) 休館日 火曜日・年末年始 〒981-0104 宮城県宮城郡利府町中央1-5-2 TEL 022-766-9231 FAX 022-766-9232 Email info@rifu-tsumiki.jp



設置者 利府町(政策課政策班) 管理運営(業務委託者) 一般社団法人Granny Rideto 利府町では、地方創生に向けて良好な住環境に「ワクワク感」をプラスした魅力的なまちづくりを進めています。政策課政策班は、地方創生の総括部門として「利府ならではの」シティセールス政策や、移住・定住政策などに取り組んでいます。

Granny Rideto(エスペラント語)は、日本語で「おばあちゃん笑顔」と訳します。これから高齢化社会を迎える中で、おばあさんになっても笑顔で暮らせる社会をつくりたいという意味が込められています。同時に「Granny」には「おせっかい」という意味があり、地域のおせっかいをやく役割を担うという意志が込められています。

公式ウェブサイト rifu-tsumiki.jp Twitter @rifu\_tsumiki Facebook (tsumiki)で検索 Instagram @rifu\_tsumiki